

平成 31 年度使用小学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）
の採択結果等について

採択地区名 豊田

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が単元を通して取り組む言語活動を設定してゴールを明確し、その活動をすることで該当学年に必要な読みの力が育成されるよう工夫している。 ・単元末には、「言葉の力」を明示し、振り返る観点を示して習得を確かなものにしてしている。また、国語の基盤づくりとしてのノート作りについて重視している。 ・友達との学び合いやコミュニケーション、日本の伝統文化に親しむことによって、健やかな知性・感性が育つように工夫されている。
書 写	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された目標や指導事項を確実に学習できるように、具体的な学習課題を設定、教材を配置している。 ・教材は、「練習」「生活に広げよう」「まとめ」「付録」の4つのタイプで構成しており、「基礎・基本ー応用ー確認」を繰り返す中で学習内容が定着できるように工夫している。 ・書写で学んだ知識・技能を生活に活用する応用教材として「生活にひろげよう」を設けるなど、他教科でも活用できる資料を積極的に取り入れている。
社 会	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・3年～5年は、巻頭に見開きで、「疑問をもつ」「問題をつかむ」「予想を立てる」「調べる」「わかる」という学習の道筋が「問いの旅」として提示されている。6年生では、上巻の巻頭に「この教科書のしくみ」のページを設け、「わたしの問題」「わたしの見方・考え方」「ふりかえてみよう」という言葉で、学習の進め方を示している。 ・問題解決的な学習の進め方については、問いの形で学習課題を示すとともに、振り返る方法を例示した「ふりかえてみよう」のページを設けている。 ・学習を振り返るために、新聞を作るという言語活動を取り入れている。振り返りの手順が示されている。
地 図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が机上に広げて学習しやすい AB 版になっている。また、等高線の色分けが明確である。また、字体が教科書体になっている。 ・「地図のなりたちとやくそくごと」や「地図帳の使い方」など地図帳を活用する上でのポイントが提示されている。 ・世界の基本地図への国旗と特徴的な写真や日本の歴史（江戸時代の交通路・歴史の舞台になった場所）などが提示されている。 ・キャラクターの吹き出しとリングファイルを模した枠により、地図帳を使つての学習ができる。また、地図帳を参考にした「防災マップづくり」など、体験な活動が提案されている。

算 数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉に解決する問題から個々で取り組む問題へとステップをふむ構成で、児童の確かな理解を促すような工夫がある。 ・各時間に「めあて」と「まとめ」が設定してあり、その時間の学習内容が概観できるようになっており、単元導入も児童が見通しを持てる構成にしている。 ・自分のやり方の根拠を説明する活動や、式からお話を考える活動を取り入れている。
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「まとめよう」が手書き形式で書かれており、児童が学習内容をまとめる際の手本になっている。 ・別冊教科書「わくわく理科プラス」の「学習のはじめ」では、学習前に自分の考えを書き込むことで、見通しをもって観察・実験が行えるようにしている。また自分の考えを図や絵、文章で表現する場面を多く設け、言語力・表現力の向上を図っている。 ・「ひろげよう」や「学習をつなげよう」が設けられており、単元内で学習した内容を生活に関連付けて考えられるように工夫されている。 ・巻末資料として、関連のある本が紹介されており、調べ学習の際などに活用できるようになっている。
生 活	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんなどころにすんでいるのかな」「どんな遊びができるかな」等の見出しを付け、課題意識や学ぶ意欲を引き出すようにしている。 ・相手意識や目的意識を明確にして表現活動を計画できるようにしている。 ・手引きとして「べんりてちょう」を活用して、相手や場に応じた言動や道具の使い方等の基礎的な力を定着できるようにしている。
音 楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の目標について、見開き左ページ上に学習目標を示し、さらに学習展開への支援となる活動文や活動のヒントを示している。 ・身の回りのものから音楽につながる活動を含む題材や巻頭「音のプリズム」の中で、生活と音楽とのかかわり、自分と音楽とのかかわりに気づかせるような写真等を掲載している。 ・第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。第1学年から合奏曲を配列している。 ・シンプルなデザインであるため、重要な部分が、優先的に目にはいるようになっている。 ・道徳の学習との関連を意識した楽曲を掲載している。 ・鑑賞したことをまとめる活動の中で、聴き取り方と話し合いの視点を記述している。

図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に、「使ってみよう材料と用具」というページ設け、表現に必要な用具の扱い方や技法，材料についてイラストや写真を使って説明し，基礎的な知識が身に付くように工夫されている。 ・ 「教科書美術館」「図画工作の広がり」「ぞうけいのもり」「裏表紙」といったような，身のまわりの造形に関心をもたせる鑑賞資料等を扱っている。 ・ とろとろ絵の具の描き方，手のひらや指などの動かし方を言葉と写真で説明している。また，紙工作の仕方，すずめ方を具体的に例示している。 ・ 児童自身が学習のめあてをマークで表すことで，自ら学び，考えることができるようになっている。 ・ 題材を5項目に分類して色分けして配列されている。配列は，絵・工作・立体・鑑賞がバランスよく配列されている。各題材で扱う主な用具を，ページ番号横にマークで示している。 ・ クレヨンのキャラクター「チーロさん」が活動のヒントを伝えている。 ・ 見立てたものを友達に紹介するために，順序立てて表現する力を養うことができる。言語活動につながる鑑賞の観点を示している。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科学習の進め方と2年間の見通しをもたせる写真や図を示し，小題材をスモールステップで学習できるように構成している。 ・ 題材の導入に「学習のめあて」を示し，題材の終わりにふり返りのチェック項目を示している。 ・ 実習や製作のページには，基礎的・基本的な技能の定着を図るため，自己評価カード「できたかな」を15か所掲載している。 ・ 学期末に「チャレンジコーナー」を5か所設け，家庭実践のヒントとなる例を取り上げ，実践で工夫したことをまとめる「チャレンジシート」を提示している。 ・ 学習上参考になる資料をマーク等で示している。 ・ 自分が生活に生かしていることをカルタに書くという具体的な言語活動の例が掲載されている。
保健	学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間の最後に「かつよう」を設け，その時間に学習した基礎的・基本的な知識を活用して考えたり，判断したり，表現したりする内容になっている。 ・ 1時間の構成では，習得した知識を活用するといった基本的な流れに沿った配置・構成となっている。 ・ 日常的に見えないものを見える化した資料を視覚的に示す「かがくの目」のコーナーを多く提示されている。 ・ 書く活動に力を入れ，とくに高学年で多く取り入れられている。

平成 31 年度使用中学校用教科用図書（「特別の教科 道徳」）の採択結果等について

採択地区名 豊田

種 目	発行者	採 択 理 由
特別の教科 道徳	日本文教 出版	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の最後に、教材に関する発問が1つ、「自分に+1」として、自分について考えさせる発問が1つ示されている。 ・問題解決的な学習に適している教材が各学年に4～5つ設定されている。また、それぞれに、「学習の進め方」として、何を議論するのかが示されている。役割演技や動作化などの体験的な学習を示している教材が各学年2つある。コラムには、実生活に生かせるスキル等が掲載されている。 ・いじめについて、教材をユニット化し、年間に複数配置している。 ・巻頭、巻末に見開き写真と詩が示されている。中学校で学習する漢字までを使用し、中学校で学ぶ漢字や固有名詞等には振り仮名をつけている。 ・別冊ノートには自己の考えをまとめたり、自己評価したりする欄が設定されている。また、学期ごとの振り返り欄と保護者のコメント記入欄がある。